

令和5年度 第3回那須町教育・保育施設未来検討委員会

会議録(要点記録)

日時：令和5年11月20日(月) 13:27～15:49

場所：那須町役場 正庁

項目	内容
1 開会	
2 委員長 あいさつ	省略。
3 議事	<p>(1) 保護者説明会、保護者アンケートの結果について <事務局></p> <p>那須町第2期保育園運営適正化・整備計画（以下「計画」という。）の対象園である黒田原第2保育園（以下「第2保育園」という。）及び千振保育園において、8月に保護者説明会を実施し、それぞれ約半数の世帯の保護者に参加いただいた。</p> <p>○保護者説明会での意見</p> <ul style="list-style-type: none">・施設が古く維持管理に費用がかかることから町の財政が厳しいのは分かる。・公立園と私立園のそれぞれにメリットがあるので、保護者が選べるといい。・将来的には統廃合する流れだと思うが、園児の心のケアを十分に考えてほしい。・統廃合ありきの説明会だと感じた。残す検討をしてほしい。・保育士が少ないと聞くので、保育士を確保してほしい。・小規模の保育や自然環境で選んでいるため、統廃合せず存続してほしい。・計画策定以降保護者に対する説明が遅すぎる。また、今回の説明会も急すぎる。・本委員会の開催結果や計画の進捗状況を適宜ホームページ等で保護者に開示し、併せて説明会も再度必ず開催してほしい。 <p>○アンケート読み取り</p> <p>アンケートについては、次のような選択が一番多かった。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者：「4歳児の保護者」 ・送迎時間：登園時「10分程度」、降園時「20分程度」 ・園を決めた理由：「家から近いから」 ・他の園を検討したか：「検討していない」 ・保育サービスの要望：「特に希望することはない」、次いで「病児保育の実施」、「土曜日給食の導入」、「休日保育の実施」 ・適正化について：「統廃合せずに残してほしい」 ・適正化についての自由意見：「現在は少人数のため保育士の目が行き届いて良いと思う」、「建て直しするのであれば立地条件を見直してほしい」、「小学校に隣接できないか」、「小人数の園が統合されるのは仕方ない」、「送迎時間で負担が増える」、「大人数での保育への不安」 ・統廃合となった場合の心配：「環境の変化」次いで「送迎時間の延長」、「通勤経路の延長」、その他「保育士とのコミュニケーションの希薄化」、「地域の居住環境の悪化による移住者の減少」 ・統廃合となった場合の園の選択肢：「引き続き利用したい」、その他「他県への移住も検討する」 ・私立保育園のメリット（自由記載）：「方向転換が早い、自由度が高い、堅苦しくない、型にはまらない」、「様々な保育方針がある」、「やりたいことが実現しやすい」、「保育士の異動がない」 ・私立保育園のデメリット（自由記載）：「職員の入れ替わりが多い」、「イベントが多く親の負担が大きい」、「給食費や雑費が高い」 ・民営化した園の保護者所感（自由記載）：「いろいろなことが経験できてよかった」、「保護者参加のイベントが多く負担が大きい」、「子どもたちが生き生きしている」 ・公立保育園のメリット（自由記載）：「行政が運営している安心感がある」、「保育士の異動があり様々な保育士と関われる」、「小学校とスムーズな連携が取れると思う」、「給食費その他雑費が安い」 ・公立保育園のデメリット（自由記載）：「幼児教育が充実していない」、「日曜祝日休園している」、「融通が利きづらい」 ・利用している園への希望（自由記載）：「土曜給食の導入」、「日曜祝日の保育実施」、「病児保育の実施」、「(幼稚園)
--	--

毎日給食を希望」、「(幼稚園) シュタイナー教育のPR」

<委員>

説明会の出席率が半分程度だが、出席していない保護者はどのように考えているのか。

<事務局>

参加者名簿からは、統廃合までに卒園してしまう園児の保護者の欠席が多い。よって、出席率は半分程度だが、説明を聞いていただきたい保護者には説明ができたかと思われる。

<委員>

説明会の案内が直前だったので、都合がつかない方も多かったと聞いている。

<委員>

無言の抵抗でなければいいのだが。

<委員>

説明会の後、アンケートで意見を述べることもできた。計画対象園の第2保育園・千振保育園のアンケート回収率も75%程度なので、ある程度意見の吸い上げはできていると思われる。

<委員>

アンケートの問10について、第2保育園と千振保育園が合算されて集計されていると思うが、「黒田原第1保育園に統合」という選択肢と「どちらでもかまわない」という選択肢で、第2保育園の保護者と千振保育園の保護者の内訳はわかるか。

<事務局>

アンケート機能上わからない。(のちに手集計により集計)

(2) 公立保育園の在り方について

<事務局>

小学校区ごとに現在の在園児の数を割り振った資料を作成した。これは、転入転出を考慮しない場合の5年後の小学生の人数である。計画対象の第2保育園と千振保育園が所在する学びの森小学校区内では出生数の減少が著しく、計画による統廃合の対象となっていることが理解できる。

また、那須町就学前児童数を毎年5名ずつ減らしたシミュレーションを行ったところ、令和14年度には全園児数が255名となる結果だが、既に令和5年度の出生数がシミュレーション時を下回っていることから、出生数の減少は更に加速するものと思われる。

なお、令和6年度の入園申込状況についてまとめたところ、計画対象の第2保育園と千振保育園はそれぞれ3名ずつとなっ

ている。

これらを参考に計画が満了する翌年度の令和8年度における入園児数をシミュレーションすると黒田原第1保育園(以下「第1保育園」という。)は91人、第2保育園は40人、千振保育園は23人の合計154人となる。第1保育園の定員は140名であることから、3園を一気に統合する案は難しいことがわかったので、これからグループワークしていただく際、3つの提案のうち(案3)「黒田原第2保育園及び千振保育園を黒田原第1保育園に統合」という案は削除いただきたい。

また、検討に当たり、適正化や財政の観点から(案1)「黒田原第2保育園及び千振保育園を存続」が厳しいことは説明してきたが、自然の豊かさや小規模保育の良さもあることから、必ずしも統廃合ありきで検討するのではなく、保育園を残す案も検討する必要があると考えている。

これらを踏まえ、委員の皆様には①公立保育園の定員割れ、②施設の老朽化、③施設の配置バランス、④保育園の保育士不足、⑤認定こども園・幼稚園の定員割れの4つの課題の解決策を検討した上で適正化の方針をどのようにすべきか30分程度でグループワークを行っていただきたい。

<委員長>

4つの公立保育園をどう合わせれば人数が適正となるかということではない。統廃合ありきで考えると議論が窮屈になってしまうので、人数合わせだけではない那須町の地域の良さをアピールしていけるような幼児教育を議論しなければならない。

また、今後のこども誰でも通園制度を受け入れられるような、県外からも園児が通園するほどの特色を出した保育園として残しても良いと思っている。

財政的な面での試算はできないが、那須町では教育に力を入れているというアピールや、保護者がより多くの選択をできるよう、子どもの少ない地域に特色のある公立の認定こども園を作るなど柔軟な考えがあってはいいのではないかとも思う。

については、単純な統廃合だけでなく、那須町の教育レベルの向上まで考えたアイデア出しをしていただきたい。

<委員>

話は戻るが、アンケート結果について気が付いたことがある。子どもを通わせる園を決めた理由について、公立保育園では自宅や職場からの距離が重視されているが、私立保育園では園の保育の方針や特色を重視している意見も多く見られる。園の方

針と保護者の意向がマッチしていない時だけメリットがデメリットに転じているように思われる。

また、本年初めて新入園時向けの保護者説明会を開催したということだがどうだったか。そして、町の立場からみて、民間活力を導入した結果、各保育園の運営や公立園だった時と比較してどう違ったのか併せて伺いたい。

<事務局>

まず、保護者説明会は本年度2回開催した。参加者は少なかったものの、幼稚園や保育園を選ぶ機会を提供できた。保護者からも好評であり、手ごたえがあったと感じている。

次に、私立保育園については新しい保育サービスの充実を期待して民営化したが、保育士不足によりなかなか手が回らない現状があるということがわかった。人員の確保については、国の補助金等を活用し町が後方支援していく必要があると考えている。また、園の方針と保護者のミスマッチが確かに存在するが、公立保育園の際に入園した児童が卒園し、選んで入園した方が増えてくれば少なくなってくるかと思われる。

<委員長>

メリット・デメリットも親目線と子ども目線で反対意見となる場合があることに留意すべき。アンケートはあくまで保護者の意見ということで参考に留めておくべきである。

ーグループワーク実施ー

<1班の発表>

- ・公立保育園の定員割れについて

現状では地理的にも千振地区の保育所を無くすのは難しいが、保育園だけの機能で残すことも難しいのではないかと。

- ・施設の老朽化について

耐震診断対象ではないものの施設の老朽化は著しく、新たな施設を建設すべきである。その際は前述したとおり、放課後児童クラブ、公民館、集会所や老人ホームなどの役割を持たせ、のちに保育所以外にも転用できるようにするのはどうか。

- ・施設の配置バランスについて

第2保育園と千振保育園を合併し、公設公営又は公設民営の認定こども園として千振地区に新設するなど、保護者に新しい選択肢を示してはどうか。

・保育士不足について

シフトをしっかりとすること、週休3日制の導入、早番・遅番は退職保育士を活用し子育て世代等若い保育士を日中の保育だけに専念させるなど、職場環境を整えれば働いてくれる方は増えるのではないかな。

・認定こども園・幼稚園の定員割れについて

今の時代に即した、保護者のニーズをとらえた形で園自体も変わっていく必要があるのではないかな。

< 2 班の発表 >

・公立保育園の定員割れについて

大人の都合もあるが、子どもにとっての目線も必要と考えた時に、単に保育園が家や職場から近いという考え方だけではいけない。また、あきらめて公立園を減らしていくのか、定住・少子化対策に町としてより力を入れて、公立園を減らすのではなくプラスの方向に働くようにするのか。民間やコンサル等を入れ、那須町として観光と教育による誘致を行うなどもっと大きな組織を作ってはどうか等の意見が出た。

・施設の老朽化について

現在の施設を補修しながら使用していくのは難しい。町として減らしていくのか、あきらめるのかの方針によって話は変わってくるという意見が出た。

・施設の配置バランスについて

やはり家や職場から保育園までの距離の問題がある。子育てのしやすい環境を考えると、一概に統廃合することが良いとは言えない。千振地区は生活の核となる場所なので、園児が少ないという理由で減らすのは難しいのではないかな。また、ステーション方式の議論もあったが、0～2歳の送迎については那須町には合わず、那須町の山間部では実施が難しい。

・保育士不足について

給与や休憩時間が取れること、シフトがきちんとしていることなどの処遇や社会的認知・虐待などの現在の悪いイメージの改善が必要。また、資格を取っても保育士として就職しない方も多いので、例えば町に5年間保育士として従事してもらえれば資格取得に係る奨学金を免除するなどの制度を設け、長く勤めてもらうのもよいのではないかな。

・認定こども園・幼稚園の定員割れについて

幼稚園や認定こども園として出来る対策は行っているのだから、更に町と協力してやっていけたら、という思いがあると

	<p>ということだった。</p> <p><3班の発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の定員割れについて <p>説明の際の（案3）について、町の方向性として最終的に統廃合に向かっていくのであれば、安易に削除すべきではない。統廃合については、現実的には今後必至となってくるので、喫緊でなくとも数年後こういった形となるということを町として町民に示していかなければならないと考えた。</p> ・施設の老朽化について <p>前述のとおり第2保育園と千振保育園については廃園という意見である。</p> ・施設の配置バランスについて <p>那須町の北方の保育園がなくなるので、2次交通関係の整備が必要である。小中学校やデマンド交通を含めきちんとした交通網を町全体で整備すべきである。</p> <p>伊王野保育園と第1保育園については、伊王野は民営化し小規模保育事業所、第1保育園は、私立保育園が参入しづらい病児・病後児保育や一時預かり事業等を公立園としてその役割を担うため公立保育園として残しておくべきではないかと考えた。</p> ・保育士不足について <p>きちんと休みが取れ、残業がないような働きやすい環境を作った上で、それを口コミで広めてもらうことが重要である。</p> ・認定こども園・幼稚園の定員割れについて <p>ふるさと定住課と共に2地域居住によるデュアルスクール構想を進めてはどうかという意見が出た。町外の人を誘致しながらゆくゆくは那須町に移住していただくような施策はどうだろうか。その他、幼稚園・認定こども園に直接公立保育園に来ていただき、2歳児クラスの保護者向けに説明会を行ったらどうかという案が出た。</p> <p><事務局></p> <p>本日頂いた意見を集約、町の考えをすり合わせた上で再度保護者説明会を実施したいと考えている。</p>
4	その他
5	閉会

那須町教育・保育施設未来検討委員会委員名簿

【委員】

	団体等名	氏名	出欠等
1	宇都宮共和大学非常勤講師	高柳 恭子	出席
2	那須町保育園保護者（公立）	青木 優磨	出席
3	那須町保育園保護者（私立）	土屋 公克	出席
4	認定こども園・幼稚園保護者会	鈴木 幸子	出席
5	認定こども園・幼稚園施設長	高橋 明男	出席
6	私立保育園施設長	吉田 泰子	出席
7	那須町自治会連合会	秋元 優	出席
8	那須町民生児童委員協議会	新巻 はるみ	出席
9	那須町地域活性化起業人	松井 彩	出席
10	那須町小中学校長会	遠藤 克朗	出席
11	那須町子育て支援センター所長	渡邊 幸子	代理
12	那須町保育園長	佐藤 恵美子	出席

【事務局】

	所 属	職 名	氏 名	出欠等
1	こども未来課	課長	大森 貴之	出席
2	〃	課長補佐兼こども政策係長	君島 絹代	欠席
3	〃	保育係長	薄井 宏美	出席
4	〃	管理係長	仙波 勇気	欠席
5	〃	保育係係員	相馬 和紀	出席